

令和6年10月1日以降の積算基準日に適用

北海道建設部 監修

③ 土木工事工種体系化の手引き [2024年10月]



工種体系化とは

北海道建設部及び建設管理部が施行する土木事業の契約・積算について、透明性・客観性を確保し、発注者・受注者間の共通認識の形成を図るため、「契約図書を誰がつくっても同一のものになる」ように、請負工事、測量・調査・設計業務の発注に際して作成される数量総括表（設計図書）や設計書・見積用参考資料（参考資料）について、その構成・記述方法の標準化を「工事工種体系化」といいます。

仕様

消費税込 6,380円

☞ A4版(342頁) / 令和5年9月発行 / 5,800円(本体・送料実費)
収録項目：土木工事編(工事工種の体系化について・工事工種体系構成表・工事工種体系構成表(公園)：調査設計業務編(調査設計業務体系化について・業務工種体系構成表)

北海道建設部 監修

④ 土木工事数量算出要領 [2024年10月]



※ この図書は隔年の発行となっております。2022年版以来の発行です。

数量算出要領とは

北海道建設部では、建設管理部が施行する土木工事にかかる工事費用の積算及び契約における透明性・客観性を確保し、発注者・受注者間の共通認識の形成を図るため、「工事工種体系化」を定めています。

これにより工事費用を積算するために、各工種ごとに算出する数量の項目、区分及び算出方法を定めたものです。

仕様

消費税込 10,340円

☞ A4版(706頁) / 令和6年9月発行 / 9,400円(本体・送料実費)
☞ 収録項目：共通編・河川砂防編・道路編・公園編・資料編